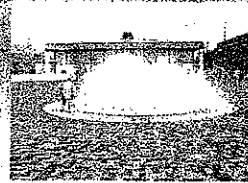
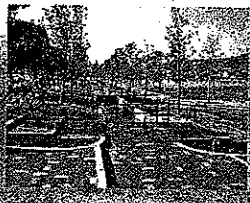
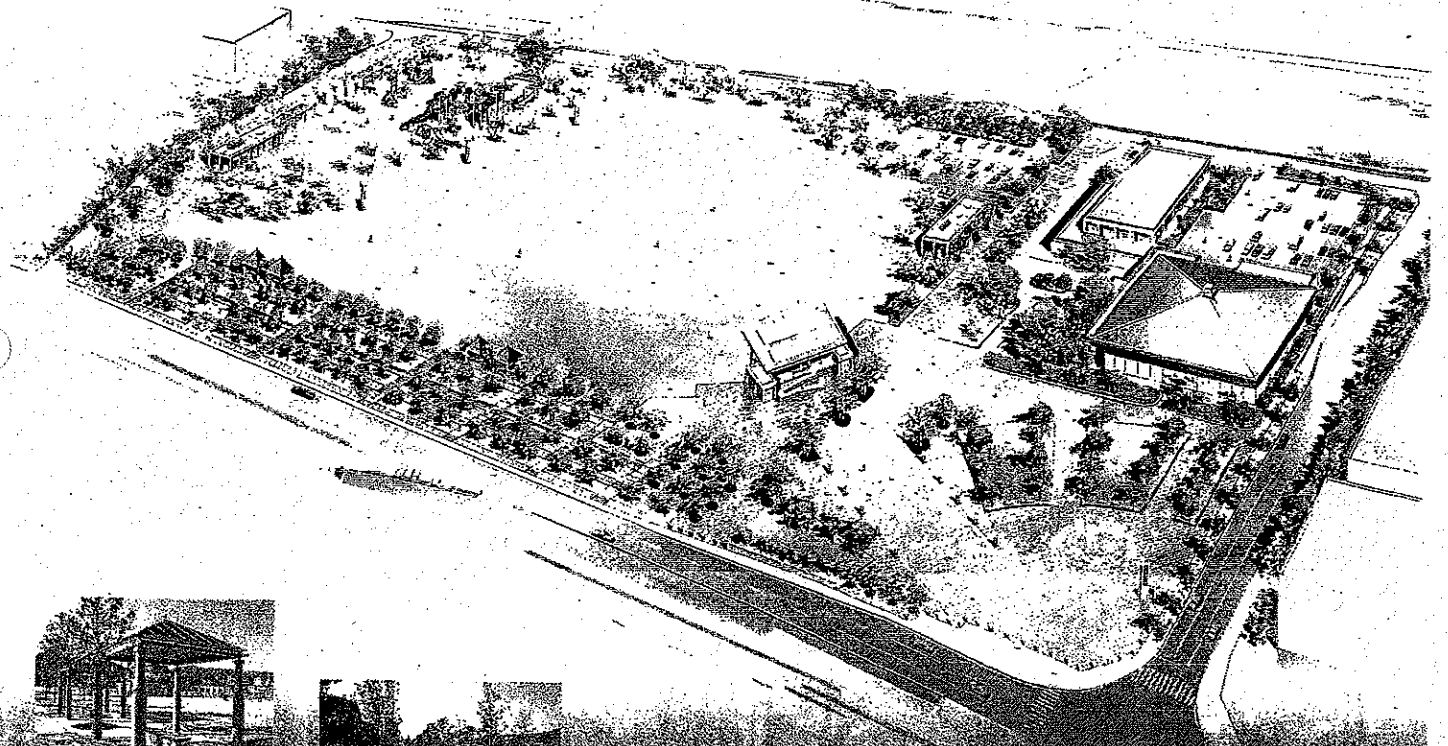


防災公園 末広中央公園



宝塚市



■ パーゴラ・備蓄倉庫

災害時、シートを利用して応急生活空間を確保します。又付属のパーテーションを設置して非常用便所として使用します。又、隣接する備蓄倉庫には災害時必要となる、毛布等の備品が収納されています。



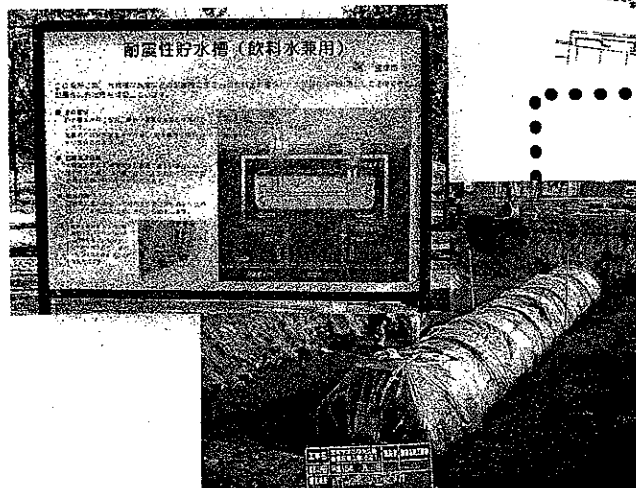
■ 遊具広場

巨大複合遊具は災害時、シートを利用して応急生活空間を確保します。平常時、幅広い年齢層の方に利用して頂けるよう様々な遊具を用意しています。



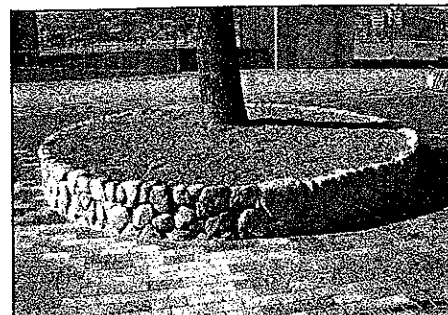
■ シェルター

災害時、シートを利用して応急生活空間を確保します。ベンチは備品の収納、テーブルとしての使用が可能です。



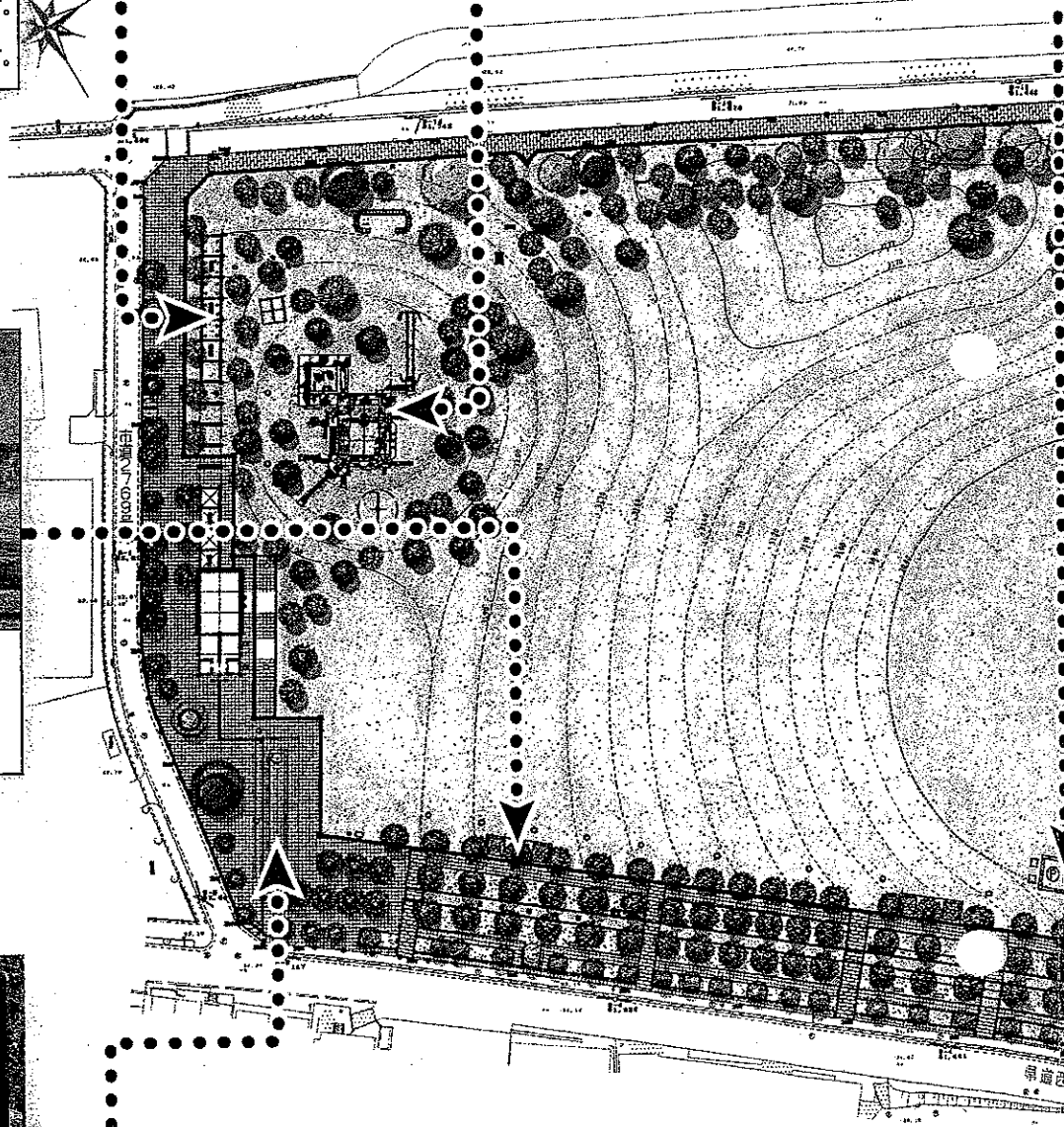
■ 耐震性貯水槽 (100m³)

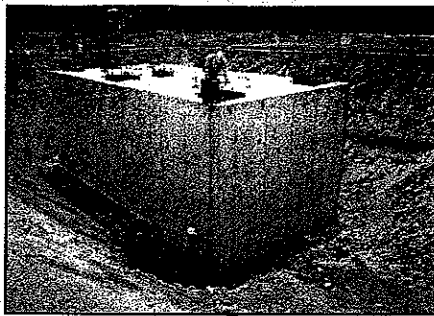
災害時、避難者の飲料水を確保すると共に、近隣火災時には防火水槽としても利用します。



■ 石積み

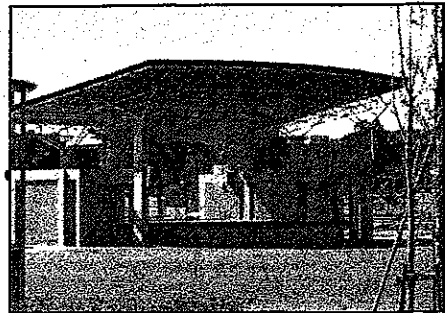
宝塚周辺では、昔から近隣河川一帯で採掘された玉石積が親しまれてきました。末広中央公園内の石積は当工事で土中より発生した玉石を用い、工事費の削減と地域文化の継承に努めています。





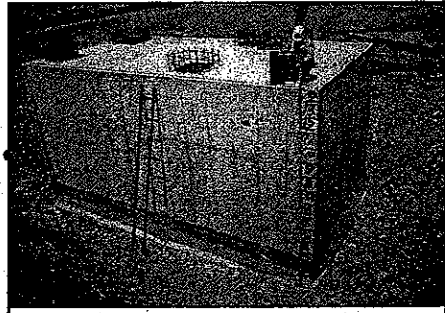
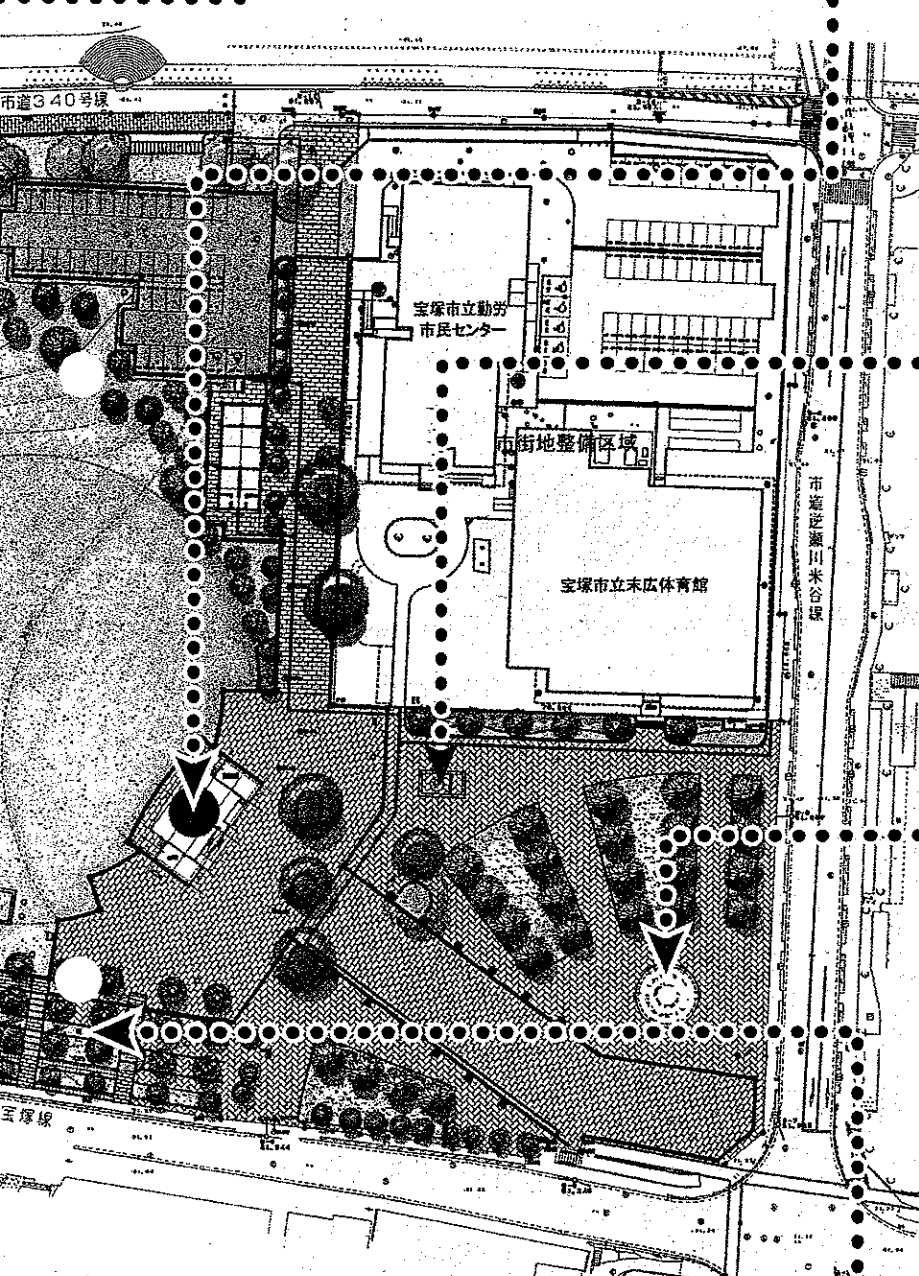
■ 生活用水槽 (105m³)

災害時の生活用水を貯水します。平常時はせせらぎ、噴水、芝生の散水等に利用します。



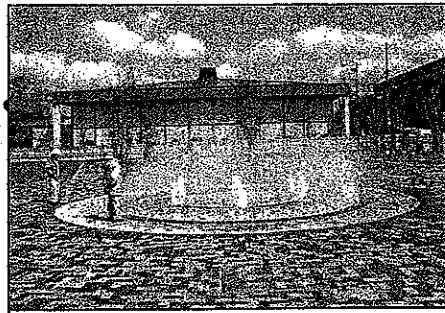
■ ステージ棟・太陽光発電・非常用電源

平常時イベント等に使用するステージ棟は、災害時救援物資等の荷捌き場となり備蓄倉庫も備えます。大屋根は太陽光発電パネルとなっており、バッテリーに蓄積された電気を災害時に利用します。



■ 井水原水槽 (56m³)

既設深井戸からの井戸水及び雨水を一時的に貯水すると共に、消防用防火水槽としても利用します。



■ エントランス噴水

エントランスに位置する噴水はせせらぎ噴水と連動し、楽しく華やかな演出を繰り広げます。



■ せせらぎ (30m³)・防火樹林帯

平常時、噴水演出等により憩いの場となるせせらぎの水は、災害時、非常用生活用水及び非常用便所洗浄水として利用します。又、せせらぎに沿った4列の並木は耐火性の強い常緑広葉樹で構成され、周辺の火災から避難者を守る機能を持っています。

末広中央公園の整備の経緯

- 平成 7年 1月17日 阪神淡路大震災
- 平成11年 2月 防災公園
街区整備事業制度創設
- 平成13年 2月 宝塚市末広町地区防災公園
街区整備事業スタート
- 平成13年 2月 旧三和銀行より用地取得
- 平成13年11月 都市計画決定
- 平成14年 2月 事業承認
- 平成14年 7月 工事着手
- 平成16年 3月 竣 工
- 平成16年 4月24日 開 園

末広中央公園整備事業概要

- 1. 事業区域 宝塚市末広町 地内
- 2. 公園種別 地区公園
- 3. 面積 約4.1ha (41420m²)
(市街地整備部分 約0.9ha、総面積 約5.0ha)
- 4. 事業年度 平成13年度～平成16年度 (工事期間H14～H15)

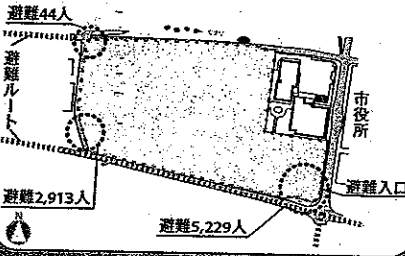
事業実施年度	H13	H14	H15	H16
事業概要	用地買収 実施設計	用地買収 整備工事	用地買収 整備工事	用地買収

- 5. 全体事業費
 用地費及び補償費 7 8億円
 施設整備費 1 1億円
 計 8 9億円
- 6. 事業名 防災公園街区整備事業
- 7. 事業主体 都市基盤整備公団

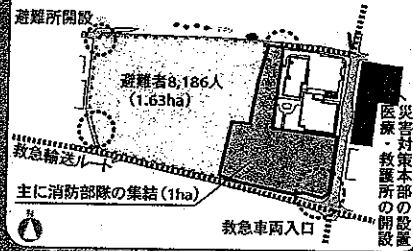
災害時の公園利用形態の変化

災害公園の機能は時間とともに変化します

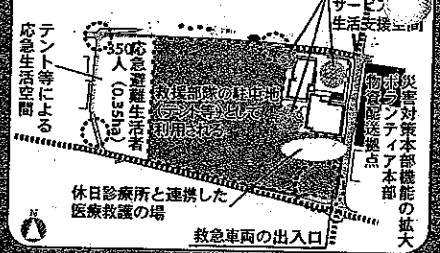
①災害直後の段階



②緊急段階その1(3時間後)



③緊急段階その2(1～3日後)



末広中央公園の位置と一次避難圏域 (500m圏)

